

科目名称：	インターンシッププラスⅡ	
担当者名：	若月 博延	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	実習	2
授業の目的・テーマ		
1 度目のインターンシップを経て、自分で出来ていたことをさらに伸ばし、足りないことは後期の授業等で身に付ける。その実践の場として、インターンシッププラスがある。2 度目のインターンシップとして、就職を意識しながら、さらに現実の職場で社会人基礎力がどの程度身に付いているのかを確認する。		
授業の達成目標・到達目標		
1 度目のインターンシップ終了後、ルーブリックで社会人基礎力の自己評価を行なった。そこで足りなかった力について、事前学習でのワークで気付きを行う。2 度目のインターンシップでは、上記の力について意識を持ちながら、インターンシップに臨む。現実の職場で必要となる社会人基礎力を獲得することが目標である。1 週間（5 日間）のインターンシップで「インターンシッププラスⅠ」の評価をした後、さらに1 週間（5 日間）分のインターンシップを行うことにより「インターンシッププラスⅡ」の評価を行う。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)			20	80	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
物事に進んで取り組む力	言われた業務が終わり次第、自ら次の業務を探ることができる	言われた業務が終わったから、次の指示を受けようと自ら質問できる	言われた業務をこなすことができたが、次の指示があるまでは動かない	言われた業務をこなしても、次の仕事を避けた
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	言われた業務をこなすだけでなく、やり方を改善できるか考え、提案できる	言われた業務をこなすだけでなく、やり方を改善できるか考えられる	言われた業務はこなすことができる	言われた業務もこなすことができない
相手の意見を丁寧に聴く力	メモを取りながら指示を受けられることができる	指示などを受けたら話を聞いて、あとでメモを取っている	指示などを受けたら話を聞いて、思い出したらメモを取っている	メモを取ることができない
社会のルールや人との約束を守る力	研修先での決まりごとを守るだけでなく、その意味を理解できる	研修先での決まり事を守ることができる	研修先での決まり事を多少は守れた	研修先での決まり事を守れない

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
----------	-----------	-------------

<p>インターンシッププラスⅠ、プラスⅡは2度目のインターンシップとして行う。実習期間は1日8時間×5日=40時間となる。 インターンシップ参加には、次のすべての行事への参加が必須となる。</p> <p>1) 事前学修1 (90分) ・インターンシップ実習までの流れの説明</p> <p>2) 第1回説明会 (90分)※事前学修 ・受入先企業等リストの提示と希望調査</p> <p>3) 第2回説明会 (90分)※事前学修 ・受入先候補企業等の発表と最終調整</p> <p>4) 事前学修2 (90分) ・事前面談への指導 ・個人ワーク：社会人基礎力についての自己評価 ・グループワーク：インターンシップの目標設定</p> <p>5) 事前学修3 (90分) ・インターンシップ実施の指導 ・インターンシップ出発式</p> <p>7) 事後学修1 (90分) ・インターンシップ研修の報告会(プレゼンテーション)</p> <p>8) 事後学習2 (90分) ・ルーブリックを用いて担当教員と個人面談を実施</p>		
--	--	--

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
--

成績評価の方法・基準

<p>定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。</p> <p>①学校報告会での発表 20% ②学生研修最終レポート 20% ③ルーブリック 20% ④インターンシップ先企業からの評価レポート 40%</p>

課題に対してのフィードバック

インターンシップ先からの評価を提示する。

教科書・参考書

インターンシップに関するプリント・資料を配付する。
